

助産院紹介

ぷくぷく助産院

【院長】鈴木佳代さん 横須賀市

【なりたち】

自分が妊娠した時に病院に行き、医師の対応にこんなところで産めないと思い、電話帳で調べて宮下先生を知り、出産をお願いしました。その後、進学して助産師になりました。ふれあいホスピタルで開業助産師の技を間近で見えて勉強し、ティアラかまくらで助産師主体のお産を行っていました。そんな中、ティアラかまくらが閉院し、オハナハウスの柳橋先生からお声をかけていただいた。産院がなくなることを経験していたので「なくしてはいけない」と思いました。2022年1月地域に愛されていた場所を引き継ぎ、ぷくぷく助産院として開業しました。

【院長メッセージ】

開業してもうすぐ3年となります。出産に母乳ケア、産後ケアに周産期特化訪問看護とたくさんの方に支えていただきながら運営していきたいと思っています。



公益社団法人 神奈川県助産師会 ニュースレター

みらい

2024年 12月 VOL.21

会長あいさつ

師走の候、皆様にはご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より助産師会へのご厚情を賜り、心より感謝申し上げます。

本年6月総会で役員改選のもと新理事、旧理事の皆様には多大なるご理解とご協力を承りましたこと厚く御礼申し上げます。

時代の繁栄に伴い県の委託事業も増え行政や関係団体との連携、関係性を感じております。新規事業のプレコンセプションケア事業も企業向けにスタートしました。母子を取り巻く環境の変化に様々な事業展開が予想されます。1人1人が研鑽を重ね未来に向けて羽ばたける助産師の増員を目指し活動の場を拡大したいと考えています。皆様方が健やかに新年を迎えられますよう、心からお祈り申し上げます。



会長 岡本登美子

バースハーモニー 美しが丘助産院

【院長】齋藤純子さん 横浜市青葉区

【なりたち】

1999年、出張専門で開業し、今年25周年を迎えます。はじめは出張専門として開業、2011年に入院施設のある助産院に。2018年に現在の場所に、助産院を構えました。助産院は一階の床全体が岩盤浴仕様、岩風呂やサウナなど、すべてが自然素材で作られており、とても落ち着く場所でした。院長の齋藤先生が、4人のお子さんを出産したときに感じたことが、自然の流れに任せる。特にマクロビオティックに基づく、食事管理。産後は助産院が持つ田んぼで、育ったお米から作る、玄米がゆのみの提供で、ママたちの体を癒してくれます。妊娠中だけでなく、出産後もママや子供たちが集まり、田植え、稲刈り、そのお米を食べる。そんなたくさんの方に、愛されるのも、院長先生のお人柄だと感じました。

【院長メッセージ】

若い助産師さん達に頑張ってほしいと思っています。バースハーモニーで開催している講座はどなたでも参加できるので、ぜひ遊びに来てください。



各種はらまき ニット生地
千葉県野田市木間ヶ瀬 3292
tel: 04-7198-1313 fax: 04-7198-6117

ルビ・本舗



公益社団法人 神奈川県助産師会
〒231-0037
神奈川県横浜市中区富士見町3-1
神奈川県総合医療会館6階
TEL: 045-262-4201
E-mail: office@kanagawa-josanshi.com
HP: http://kanagawa-josanshi.com/



事務局より

事務局より2025年度年会費の振替日をお知らせします。
1回目: 2025年2月25日(火)
2回目: 2025年3月24日(月)
(残高不足の方のみ)



編集後期

ニュースレターの作成を通して、助産師の活躍できる場が助産以外にもいろいろあることを改めて知ることができました。

15周年「とわの日」開催しました！

神奈川県助産師会立とわ助産院院長 山本年映



10月8日(火)10時から15時とわの日イベントを行いました。昨年度の連休中の開催に比べ平日で小雨の降る中でしたが、より多くの母子が来院してくれました。嬉しいことに産後ケアを利用していただいた母子の参加が目立ちました。今回は鍼灸体験・親子写真の他、新コーナーの姿勢調整・手形足型アート・タロット占いはとても人気でした。研修室では、親子ヨガや赤ちゃんレース、“NPOはなはな”の方に手遊びも行っていただきました。赤ちゃんレースは大興奮でした。無料の母乳相談コーナーもスタッフの協力で、数組の母子に対応できました。

どこかで赤ちゃんの泣き声がしているという感じでしたが、母子で賑わう院内を見ていてとても嬉しくなりました。これからも地域に根差した活動を目指し、母子を見守っていける助産師、助産院でありたいと感じる一日でした。

助産師会の活動

地域での様々な活動をご紹介します



助産師派遣

事業統括理事 久保 貴巳子

私たちの様々な活動の一つに、女性の健康推進を目的として、団体や企業からの要請に応じて助産師を派遣する事業があります。企業の要請テーマに応じて会員の助産師の中から、担当助産師を選定し、企業に派遣致します。派遣先ではセミナーや相談業務を開催致します。

9月に、大企業である鈴与シンワート様へ、2件のセミナーを実施しました。テーマは「女性が健康を保つための効果的な身体づくり」と、「男性にも女性にも聞いてほしい_更年期の仕事と健康の両立に向けて」の内容で、参加者は合計21名でした。参加者からは好評を得、講師陣からはブラッシュアップになると前向きな意見が聞かれています。

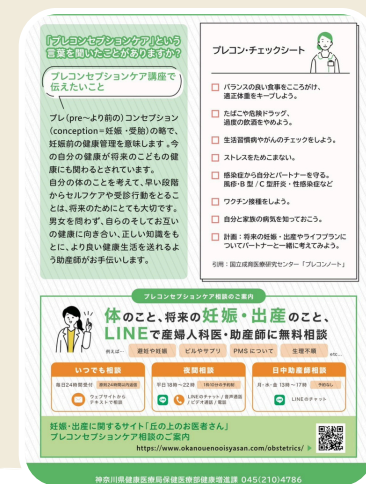
「助産師によるオンライン相談室」では、相談者が担当の助産師と話しているうちに笑顔に変化していく反応から、手ごたえを感じつつ、やりがいにも繋がっています。企業が、女性の健康を支え、働きやすい環境を整備するためにお手伝いさせていただいています。と同時に、ますます助産師の活躍の場が広がることを願って活動しています。



プレコンセプションケア

事業統括理事 又木 由美

当会は、神奈川県から「企業向けプレコンセプションケア出前講座業務」を受託し、講師とファシリテーターのメンバーにて企業に向けた講座の準備を進めています。助産師会として幹となる資料の作成には十分時間を費やし、11月以降は様々な企業に向けて出前講座を実施してまいります。まだまだ一般の方々には「プレコンセプションケア」という言葉すら認知されておりませんが、これを機に企業が当たり前の様に「プレコン大事だね」と健康教育に取り組んでいただけるよう今年度メンバー全員で尽力していきたいと思えます。



助産師が伝える「いのちのはなし」事業の活動の今

助産師が伝える「いのちのはなし」事業 中島清美

本事業は平成18年に神奈川県より助成金を受けて県下で「いのちのはなし」の講演活動する助産師に声をかけ一斉に開始して以来、小中学校・高等学校・PTAや各地域団体・企業などに出席講座として実施しています。また、「いのちのはなし」の積み重ねを大切に考え定。期的な講座の開催を企画し、平成27年より家族で聴きたい「いのちのはなし」を発足し、年間で低学年向き2回、高学年向き2回の講座を開催しています。この企画は当会の認める講師を育成する機会となっています。近年地域の助産師会が発足し講師活動が活発になっていること、自治体からの助成金の充実、子どもたちの生活環境の変化などから活動や内容の見直し、当会としての役割を委員会でも話し合い次年度に向けて新たな取組みを検討しています。



イベント出展

事業統括理事 又木 由美

2024年9月7日（土）大船にある鎌倉芸術館が会場となり、（公社）日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会に協賛してイベントブースの出展をいたしました。会員と理事の4名が担当して、胎児人形や新生児人形の抱っこ体験、妊婦ジャケットの体験、当会の様々な活動のチラシやパンフレットの展示、防災コンパスの配布など、青年会議所の皆様や地域の皆様に助産師会の活動を知ってもらうことを目的に活動してきました。このようなイベント出店は、今年度3回目となります。"子育て応援隊"の助産師が様々な地域で活動をアピールできると、助産師のことがもっと周知されるのではないかと思います。

